



「第 26 回静岡県理学療法学会 開催にあたり」

第 26 回静岡県理学療法学会

大会長 小林 敦郎

この度、第 26 回静岡県理学療法学会を 2023 年 6 月 17 日（土）・18 日（日）に、ふじのくに千本松フォーラムプラサヴェルデ（沼津）にて開催いたします。開催形式は現地対面開催＋オンデマンド配信（講演など一部）となります。

本学会大会のテーマは「多様性の中での理学療法のこれから」としました。近年、理学療法対象者は、多様な障害あるいは重複した障害を抱え、理学療法の業務範囲も拡大されてきております。そうした中、今後の理学療法はさらに高度な専門性が推しはかられ、益々専門的知識と技術が必要不可欠になることは間違いありません。本学会大会では、最新の専門的・学術的な知識を様々な分野から情報提供して行けたらと思っております。

また、地域では地域包括ケアシステムは着実に進められており、医療機関と介護施設間、または医療専門職間でのシームレスな多職種連携を図ることが求められています。今後はより一層、専門職として、お互いの意見や要望、ご家族を含めた対象者の多様性を尊重した対応が重要と考えております。様々な多様性がある中、会員お一人お一人の思う多様性があるかと思えます。ご自身の多様性から、これからの理学療法を考えて頂ける学会大会になればと願っております。

皆様ご存じのように、COVID-19 の影響を受けて第 24、25 回学会とオンラインでの開催となり、3 年ぶりの対面開催となります。とくに 1 年目から 3 年目の会員の方々は、現地の学会や研修会に参加する機会はほとんどなかったと思われます。オンラインで手軽に参加できることも、また学習の方法として確立されましたが、対面で感じるその臨場感、直接対話での熱い議論を肌で感じることも是非体験してほしいと思っております。必ずや得るものはあり、それはきっと理学療法の発展・向上に繋がると信じています。

最後になりますが、一般演題をはじめ充実した講演およびセミナー等、皆様に有意義な学会大会にするべく準備委員一同準備を進めております。皆様の積極的なご参加を心よりお待ち申し上げるとともに、是非とも現地でお会いできることを祈念しております。

目次

とびら	1	役員選挙のお知らせ	2
各部局からのお知らせ	3	各部局の活動報告	10
編集後記	25		

2023年2月6日

会員各位

選挙管理委員長 山中真一

役員選挙（理事）について

2月3日に立候補締め切りとなりました。理事に以下16名が立候補しました。よって、立候補者数が定数内であったため立候補者16名を当選といたします。

1. 立候補者一覧（順不同、敬称略）

高木 亮輔	JA 静岡厚生連	リハビリテーション中伊豆温泉病院
小原 智永	株式会社	リハライフサポート
岩寄 宣人	社会福祉法人	農協共済中伊豆リハビリテーションセンター
瀧 和人	医療法人社団	健寿会 山の上病院
渡邊 勉	一般財団法人	富士脳障害研究所附属病院
山下 裕太郎	JA 静岡厚生連	遠州病院
森下 一幸	浜松市	リハビリテーション病院
川村 浩二	富士宮市	役所
久野 加世子	公立	森町病院
山本 武	常葉大学	保健医療学部 理学療法学科
菊池 和幸	株式会社	THE FBS ナーシングステーションみや
河野 隆志	静岡東都	医療専門学校
松下 太一	医療法人社団	三誠会 北斗わかば病院
小林 敦郎	順天堂大学	医学部附属静岡病院
森 雄司	独立行政法人	国立病院機構 静岡医療センター
松本 武士	浜松市	リハビリテーション病院

以 上

会員各位

公益社団法人 静岡県理学療法士会
会 長 大石 義秀
広報局長 渡邊 勉

地区メール連絡網・FAX 連絡網での情報発信の廃止について

謹啓

平素は本会の運営にご理解とご支援を賜り、改めて感謝申し上げます。

これまで本会では、各種研修会・事業等のご案内を地区メール連絡網及び FAX 連絡網で配信をしておりました。この地区メール連絡網や F A X 連絡網は、所属長宛にお送りしており、印刷などの手間や施設の所属会員皆様のところに情報が届くまでに時間を要するなど解決すべき課題となっておりました。

本会は、この課題を解決すべく、公式 L I N E やホームページリニューアルなど様々な運用方法の見直しをしてまいりました。また、2023 年 2 月からは一括メール配信システム（メルマガ）を導入し、会員個人宛に情報発信ができるように対応しております。

上記の事から、今年度より地区メール連絡網及び F A X 連絡網での情報発信については廃止させていただく事になりました。皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 廃止時期：2023 年 4 月より
(これまで通り施設宛にご案内が欲しい施設は事務局までご連絡ください)
2. 情報提供方法：ホームページ、広報誌、メルマガ、公式 L I N E
3. メルマガ登録・公式 LINE 登録方法：ホームページにてご確認ください
*メルマガ配信については 2023 年 2 月 1 日時点で協会マイページに登録されているアドレス宛に配信させていただいております。マイページにアドレス登録をされていない方、普段使用していないアドレスを登録されている方、2 月 1 日以降にアドレス更新をされた方は県士会 HP からメルマガ配信登録をしてください。

以上



SPTA メルマガ配信開始のお知らせ



2023年2月12日より、SPTAメルマガを配信しました。会員の皆様、無事に届いておりますでしょうか？
協会にご登録されているアドレスで9割ほど送信できていますが、**5割の方が未開封の状況**となっております。
今後、メルマガは**学会・研修会・各種イベント情報等、重要なお知らせを配信するツール**となります。
所属長の方は、所属会員へのご確認をお願いできますと幸いです。

2023年2月1日時点で日本理学療法士協会に登録しているアドレスを利用させていただきました。

2月1日以降に協会マイページのアドレスを更新した方、普段使用していないアドレスの方、メルマガが届いていないという方は下記よりご登録をお願いします。（現在127件がエラーとなり、配信ができない状況になっています。）

携帯のキャリアメール（au、Softbank、docomo等）は、機種によってメールの表示ができない可能性
があります。※可能であればPCメールでのご登録を推奨します。

メルマガ配信が不要な方はお手数ですが、下記より配信解除の手続きをお願いします。

メルマガは、spta.merumaga@shizuoka-pt.com のメールアドレスから届きます。

「@shizuoka-pt.com」のドメイン指定・受信設定をお願いします。

配信解除はこちらから

<https://bit.ly/3FTVTj9>



新規でのご登録はこちらから

<https://bit.ly/3BW0vnF>



【本件に関する問い合わせ先】

公益社団法人 静岡県理学療法士会 広報局 渡邊勉

E-mail : tsutomu@shizuoka-pt.com



理事会通信の電子化について



これまで広報誌『ゆまにて』に同封していた理事会通信（理事会内容のお知らせ）を電子化して HP 内の「会員専用ページ」に掲載することになりました。

今後は下記より会員専用ページにアクセスして頂き、理事会通信をご覧ください。

**※会員専用ページのパスワードをお忘れの方は
事務局までお尋ねください。**

会員専用のホームページは下記の QR もしくは URL よりアクセスしてください。

おひとりおひとりの思いを大切に。
いつまでも自分らしく生きられるよう
さまざまな活動をしています。

公益社団法人
静岡県理学療法士会



<https://shizuoka-pt.com/members-only/>

【本件に関する問い合わせ先】

公益社団法人 静岡県理学療法士会 広報局 渡邊勉

E-mail : tsutomu@shizuoka-pt.com

静岡県理学療法士会専用の メディカルオンラインログイン ID と パスワード案内方法が変わります

会員各位

2023 年度より静岡県理学療法士会専用のメディカルオンラインログイン ID とパスワード案内方法が変更になります。

2022 年度まで：ゆまにて同封にて紙面案内

2023 年度から：静岡県理学療法士会 HP→会員専用ページ

会員専用ページ URL：<https://shizuoka-pt.com/members-only/>



本会専用の ID とパスワードにてログインすることで、本会発行の学術誌「静岡理学療法ジャーナル」がメディカルオンラインにて無料で全文閲覧をすることができます。

ぜひ、県士会 HP 会員専用ページからログイン ID とパスワードを確認頂き、メディカルオンラインをご活用ください。

問い合わせ：

公益社団法人 静岡県理学療法士会 学術局 学術誌部 堀野広光
聖隷三方原病院 リハビリテーション部

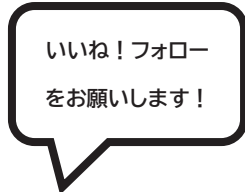
Mail：h.horino@sis.seirei.or.jp

第26回静岡県理学療法学術大会

お知らせ(第5報)



大会 HP



多様性の中での 理学療法のこれから

開催日：2023年6月17日土・18日 日

会場：ふじのくに千本松フォーラム プラサヴェルデ
〒410-0801 静岡県沼津市大手町1-1-4

大会長：小林 敦郎(順天堂大学医学部附属静岡病院)

【運営委員登録の御礼】

沢山のご応募ありがとうございました。皆様にとって有意義な学術大会となるよう、今後も準備委員一同、準備を進めていきますのでよろしくお願い致します。

【学術大会 企画紹介】

豪華講師陣による充実したプログラムとなっています！

●基調講演

「運動学的な姿勢・動作分析の臨床と研究への応用」

弘前大学 対馬 栄輝 氏

●シンポジウム

「住民の主体性と多職種連携がつむぐ地域医療」

伊豆保健医療センター 清水 啓介 氏

「多職種がつなぐ地域医療～保健師・看護師の立場から～」

かなおか地域包括支援センター 正岡 明美 氏

「理学療法に基づいた地域づくり」

リハビリテーション中伊豆温泉病院 藤原 潤 氏

●教育講演

「多様性の中での理学療法～呼吸理学療法を学ぶこと～」

亀田総合病院 鶴澤 吉宏 氏

「神経理学療法の今後の展望」

健康科学大学 高村 浩司 氏

●テクニカルセミナー

「骨盤底機能障害に対する理学療法」

昭和大学横浜市北部病院 重田 美和 氏

「がん医療の中で理学療法士が果たすべき多様な役割」

静岡県立静岡がんセンター 米永 悠佑 氏

「ひとは実践や経験からどう学ぶのか-理学療法教育への応用-」

文京学院大学 鈴木 里砂 氏

●大会長企画

「スポーツ理学療法の実際-臨床・実践・研究・教育-」

順天堂大学 相澤 純也 氏

「パラスポーツ現場での活動と学術への応用」

広島大学 前田 慶明 氏

●特別講演

「公的保険・公的保険外における全世代型理学療法(士)のこれから」

日本理学療法士協会 佐々木 嘉光 氏

●その他:ワークショップ・専門部会セミナー・公開講座・一般・フレッシュマンズ・ポスター演題

第26回静岡県理学療法学術大会 広報局

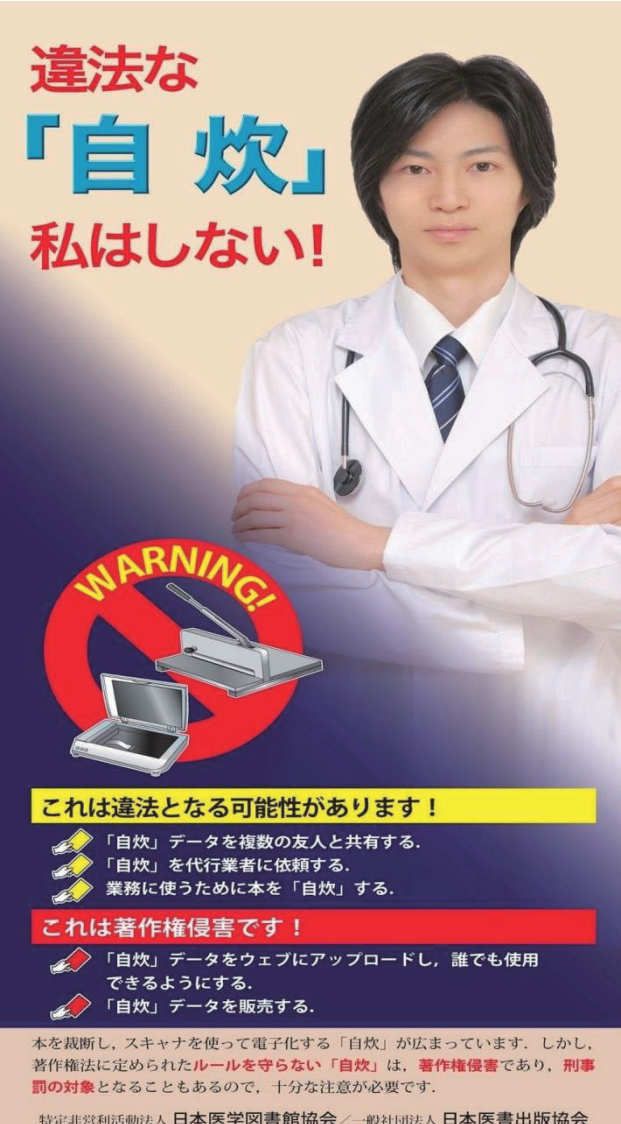
著作権の侵害に注意を！

日本集中治療医学会 学術大会にて講演の動画が複製され、複数に配布されるといったトラブルが発生しています。

動画・画像・図、等の複製及び配布は、著作権侵害にあたる可能性があります。

昨今の情報ツールの発展により、無自覚に他人の著作権を侵害してしまうことも起こり得ます。

会員の皆様におかれましては、本会の活動や他の活動に対しても、著作権に対する意識を高めて頂きたいと思います。



違法な「自炊」
私はしない!

「自炊」とは…

書籍や雑誌などの「著作物」を「複製」すること

但し、個人的または家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内において使用する場合は、使用が許されます

これは違法となる可能性があります！

- 「自炊」データを複数の友人と共有する。
- 「自炊」を代行業者に依頼する。
- 業務に使うために本を「自炊」する。

これは著作権侵害です！

- 「自炊」データをウェブにアップロードし、誰でも使用できるようにする。
- 「自炊」データを販売する。

本を裁断し、スキャナを使って電子化する「自炊」が広がっています。しかし、著作権法に定められたルールを守らない「自炊」は、著作権侵害であり、**刑事罰の対象**となることもあるので、十分な注意が必要です。

特定非営利活動法人 日本医学図書館協会 / 一般社団法人 日本医書出版協会



医学生・医療従事者のための

著作権の基礎知識

みなさんがたずさわる医学の世界は、多くの先人の業績のうえに、新たな成果が日進月歩で蓄積され、絶え間なく発展を続けています。そこでは、他人の業績に常に敬意を払いながら、みずからも積極的に発信することが求められます。このように、誰もが常に情報の受け手となり、また送り手となる医学の世界では、論文それ自体はもとより、そこに含まれる文章、図表、写真等に発生する著作権を常に意識し、ルールを守って利用する必要があります。

このパンフレットは、医学生や医療従事者がぜひ知っておきたい著作権の基礎知識を、〇×クイズを通して、簡単に身につけられるように、法律家のアドバイスを受けながら作りました。他人の著作物を使う前に、少し立ち止まって著作権のことを考える…そんなきっかけにいただければ幸いです。

特定非営利活動法人 日本医学書館協会 (JMILA) JMPA 一般社団法人 日本医書出版協会

2021年8月発行 ©JMILA/JMPA, 2021

■ 出版社からみなさんへ ■

「この文献をコピーしたい」、「この図版を転載したい」、「患者さんに本のコピーを渡したい」…、教育、研究、臨床などさまざまな場面で、著作物を積極的に活用したいと思われる方が多いと思います。そんなときには、ぜひ出版社や JCOPY (出版者著作権管理機構 <https://jcopy.or.jp/>) に問い合わせてください。著作権法を自己流に解釈することは、知らず知らずのうちに違法行為に手を染めることに繋がりがかねません。みなさんが正しく著作物を利用できるよう、日本医書出版協会はこれからも積極的に情報を提供して参ります。

■ 図書館からみなさんへ ■

大学や医療機関で利用する出版物やインターネット上の情報は、事実やデータを除き、ほぼすべてが著作権で保護された著作物です。また、みなさんが書かれる学術論文はもちろん著作物ですし、メモやレポート、メールやブログもほとんどが著作物で、便利なデジタル情報が大量に提供され、簡単に加工・再利用できることから、気がかぬままに著作権を侵害するケースも多いと思われます。昨今の著作権法改正では、このような権利侵害に対する厳罰化が進んでいます。インターネット上の画像やテキストを含め、著作物の利用にあたり、権利侵害ではないかと不安をお持ちでしたら、トラブルを未然に防ぐためにも、ご所属の図書館員にご相談ください。みなさんの問題解決を支援いたします。

■ もっと知りたい方へ ■

公益社団法人 著作権情報センター (CRIC)

<https://www.cric.or.jp/>

著作権の基本を分かりやすく学ぶことができます。

一般社団法人 日本医書出版協会 (JMIPA) — [著作権について]

<https://www.medbooks.or.jp/copyright/>

文献のコピー、引用・転載、「自炊」についての考え方をまとめてあります。

著作権〇×クイズ

いずれのケースも著作権者の許諾を得ていません。2021年4月1日現在施行されているのが国の著作権法に基づいています。該当する「O」、該当・該当しない「X」と回答してください。

- Q1** 勤務医です。医局が手狭になったので書籍にある医療文献をすべて電子化しました。
- Q2** 多数の医学文献を誰でも自由に使えるウェブサイトを見つけました。無許諾でアップされているようですが、医学書を買わなくて済み、また便利なので、日常的に必要な部分をPCやタブレット、スマートフォンなどに保存して、私個人で利用しています。
- Q3** 医学部の学生です。自分が所有する教科書をサークル内で利用してもらうため、厳断し、スキャンして電子化し、データをメンバー全員で共有しました。
- Q4** 医学部の学生です。友人に借りた書籍に付属していたDVDの動画が、非常に参考になったので、リッピングソフトで暗号解除し、自分のパソコンにデータを保存しました。
- Q5** 大学の教員です。授業で雑誌記事を参考資料としてコピーし、配布しました。
- Q6** 大学の事務員です。本学を紹介する記事が医学系の雑誌に掲載されたので、その記事のページをコピーして、学校説明会の資料として、参加した学生や保護者に配布しました。

答え

A1



著作権法 30 条 1 項では「私的使用」のための複製には著作権者の許諾が必要ない旨規定されていますが、業務に使用する文献を、複数の勤務医が所属する「医局」という場で利用するために電子化(複製)することは、「私的使用」とは認められない可能性があります。

A2



違法にアップロードされた医学論文等の著作物を違法だと知りながら、繰り返し受信し、PC等に保存して利用していると、私的に使用するだけでなく、通信販売され刑罰が科されることがあります(著作権法 119 条 3 項 2 号)。
著作物を無許諾でインターネット上にアップロードすることは従前より原則として違法でしたが、「漫画村」など著作物をインターネット上で無断公開する海賊版サイトが後を絶たないことから、令和 2 年著作権法改正により、そのようなサイト運営行為等自体が違法となり、刑事上処罰の対象となります(著作権法 119 条 2 項 4 号、5 号等)。また、権利者による告訴が不要(著作権法 123 条 2 項)な非親告罪が適用される場合もあります。インターネット上に著作物を無断で公開することは、厳に慎んでください。

A3



著作権法 30 条 1 項の「私的使用」と認められるには、「個人的に又は家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする」ことが求められます。サークルの人数、活動内容によっては「限られた範囲内」を逸脱するケースも多いため、特に注意が必要です。

A4



リッピングソフトを用いて DVD の暗号を解除し、内容を複製することは、「私的使用」目的であっても、無許諾では行えません(著作権法 30 条 1 項 2 号)。なお、暗号技術など、「技術的保護手段」が施されていない DVD であれば、「私的使用」目的での複製を行うことができます。

A5



1 クラス単位での授業の課程で使用するために、著作物を必要と認められる限度において複製することは認められています(著作権法 35 条 1 項)。

また教育機関設置者が補償金を「一般社団法人 SARTRAS」に支払うことで前述の範囲で電子複製して利用(公衆送信)することが認められています(著作権法 35 条 2 項)。

※補償金を支払うことで授業目的に著作物を複製利用する場合は「一般社団法人 SARTRAS」<https://sartras.or.jp/unyoshishin/>に掲載の「改正著作権法第 35 条運用指針」を参照して下さい。

A6



たとえ自分の大学についての記事であっても著作権者に無断でコピーすることはできません。このような場合は、多くの医学系の商業出版社が複製利用等についての管理を委託している JCOPY (出版者著作権管理機構 <https://jcopy.or.jp/>) に相談してください。JCOPY 委託出版物かどうかは、同機構の Web サイトで確認できます。

著作権って何?

■ どんな権利なの?

著作権は、複製権、上映権、公衆送信権(送信可能化権を含む)、譲渡権、貸与権など、複数の権利により構成されます(著作権法 21 条~28 条)。これらはコピーをする権利、スクリーンなどに映写する権利、インターネットにアップロードする権利、販売する権利、レンタルする権利、などとも言い換えられますが、原則的に、権利者に無断でこのようなことを行っはけません。

■ 著作権で保護されるものは?

文章、講演、図表、写真、スライド、動画やプログラムなど、医学の文献や学会発表等に属するものは、事実やデータそれ自体を除き、創作性が認められる限り、ほぼすべてが「著作物」であり、著作権で保護されています。他にも音楽、振付、絵画、漫画、建築等、およそ人間によって創作的に表現されたものは、ほとんどが「著作物」です。

■ 著作権の制限って?

著作権による保護と著作物の利用とのバランスを図るため、著作権を制限する規定も著作権法には設けられています(同 30 条~47 条の 7)。たとえば「個人的に又は家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用すること」つまり、「私的使用」目的であれば、原則として権利者に無断で複製をすることができます(同 30 条)。また、論文等を執筆する際には「公正な慣行に合致し、かつ引用の目的上正当な範囲内で行われる」場合は、権利者に断りなく著作物を「引用」することもできます(同 32 条)。ただし、制限規定は、権利者の利益を侵さないよう、厳格に解釈すべきものであることは、注意が必要です。



「JRAT-RRT 養成研修への参加報告」

高柳勇太^{1) 2)}

1) 浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション部 2) 静岡県理学療法士会 災害対策委員会

令和4年11月～令和5年1月にかけて「JRAT-RRT 養成研修」を受講させていただきました。JRAT-RRT(JRAT-Rapid Response Team)とは、JRATの中でも初動活動に特化したチームであり、発災早期から派遣され被災地域JRAT代表の指示下で活動をします。JRAT-RRTの役割は①被災地域JRAT本部の立ち上げと運営に寄与②被災地域JRATとJRAT東京本部との連絡調整③被災状況および避難所についての情報集約④その他、被災地域JRAT活動に寄与する事項とされております。今年度はオンラインでの講義と演習であり、JRAT-RRT創設の背景や過去のJRAT活動についての講義、演習はJRAT-RRT隊員として発災から派遣への準備、被災地で本部を立上げる時にどのような情報を収集するか、上位組織にどのような情報を報告するか等をグループワークでディスカッションを行いました。ディスカッションは、ファシリテーターの進行のもとで、JRAT-EWS*、CSCARIC*、Help-SCREAM*、METHANE*に順じて行われました。

今回の研修でJRAT-RRTは被災地JRATのリエゾンとして活動することを理解できました。演習中に複数のキーワード*が登場しましたが、被災地で組織的な活動をする時は初めてお会いする方々とも活動をしていくことになります。そのため共通の言語を理解しておくことが重要であると感じました。

最後に、今回の研修を受講する機会を与えてくださいました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

③ JRAT-RRT派遣の有無の道標

JRAT-EWS

災害の規模（震度）、被災状況（避難者数）、支援状況（DMAT）の3つのパラメーターで、スコアを出し、合計点数により、およそのRRTの人数を概略する。

スコア	0	1	2	3
震度	5以下	6弱	6強	7以上
避難者	1～99人	100人～999人	1,000人～9,999人	10,000人以上
DMATの派遣	なし	都道府県内の派遣	都道府県を超えた派遣	ブロックを超えた派遣
合計スコア	派遣するRRTの人数	想定される主な活動		
0～2	0人	なし		
3～5	3～5人	現地視察・地域JRATの支援		
6以上	6人以上	現地視察・地域JRATの支援 現地対策本部立ち上げ、 県庁ヘリエゾン派遣		

* JRAT本部の判断、地域JRATの支援要請があれば、派遣を考慮する。
JRAT-RRT隊員研修スライドより

④ JRATの活動の道標

CSCARIC

C	Command & Control	指揮命令と協働
S	Safety	安全の確認と確保
C	Communication	通信確保
A	Assessment	評価
R	Rehabilitation Triage	リハビリテーショントリアージ
I	ICFに基づいた支援	ICFに基づいた支援
C	Community Based Rehabilitationへの移行	地域リハビリテーションへの移行

三宮克彦：平成28年熊本地震におけるJRATの活動について、MB Med Reha No.272：15～21, 2022

HeLP-SCREAM (助けてと叫ぶ)

立ち上げ(活動開始時)

• Hello	カウンターパートへの挨拶
• Location	本部の場所の確保
• Part	初期本部人員の役割分担
• Safety	安全確認
• Communication	連絡手段の確保
• Report	上位本部への立ち上げの連絡
• Equipment	本部機材の確保
• Assessment	アセスメント
• METHANE	状況の評価と情報発信

DMAT 統括DMAT研修

災害時に収集すべき情報

METHANE Report

M	Major incident: 大事故災害 「待機」または「宣言」
E	Exact location: 正確な発生場所 地図の座標
T	Type of incident: 事故・災害の種類 鉄道事故、化学災害、地震など
H	Hazard: 危険性 現状と拡大の可能性
A	Access: 到達経路 進入方向
N	Number of casualties: 負傷者数 重症度、外傷分類
E	Emergency services: 緊急対応すべき機関 —現状と今後必要となる対応

MIMMS Advanced course より引用

※研修中に登場したキーワード

「JIMTEF 災害医療研修アドバンスコースの受講報告」

高柳勇太^{1) 2)}

1) 浜松医科大学医学部附属病院 リハビリテーション部 2) 静岡県理学療法士会 災害対策委員会

令和5年2月4日~5日にかけて「JIMTEF 災害医療研修アドバンスコース」を受講させていただきました。この研修はベーシックコースを修了した後に受講が可能な研修で現地開催となりました。研修はグループディスカッションや避難所運営ゲーム(HUG)、本部運営実習を行いました。本部運営実習では災害医療コーディネーターチームとしてDMAT活動拠点本部の活動を引き継ぐ形で運営をする練習を行いました。

HUGや本部運営演習では役割(リーダー、サブリーダー、医療ニーズ担当、資機材担当、連絡係、記録係等)が設定されており私はリーダー役を担当しました。HUGや本部運営のリーダーを担当して感じたことは、集まってくる人や情報を整理し、対応する優先度の順位付けをするため本質的には同様の活動を行っており、広い視野と先を見通すことが大切でした。リーダーは避難所や本部の運営を行っていく上で情報を集約し整理していく工程が重要となります。今回リーダーを経験したことで、活動方針や各役割における業務内容の明確にするために、事前のミーティングで道筋をしっかりと立ててから活動を開始することが重要であると感じました。今回、リーダーの目線で本部を経験することができ、反省を今後の訓練にも活かしていきたいと思えます。

最後に、今年度は研修や訓練を通じて貴重な経験をする機会が多くありました。このような機会を与えてくださいました関係者の皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



写真1：講義の様子



写真2：HUGの様子

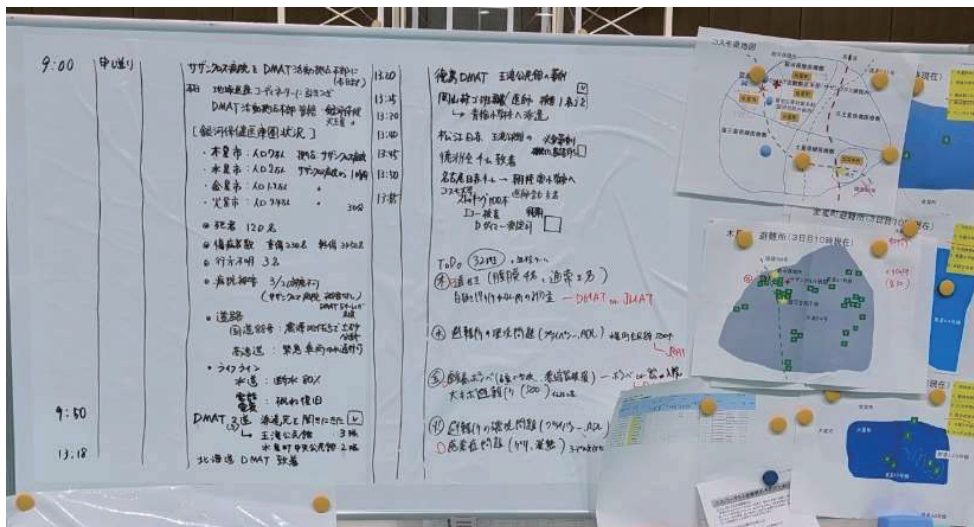


写真3：本部運営演習時のクロノロジー(通称クロノロ) ※

※情報を網羅的かつ時系列で書き出す方法、災害時に漏れなく記録し必要な情報をまとめる際の基盤となる

台風 15 号による被害のご報告

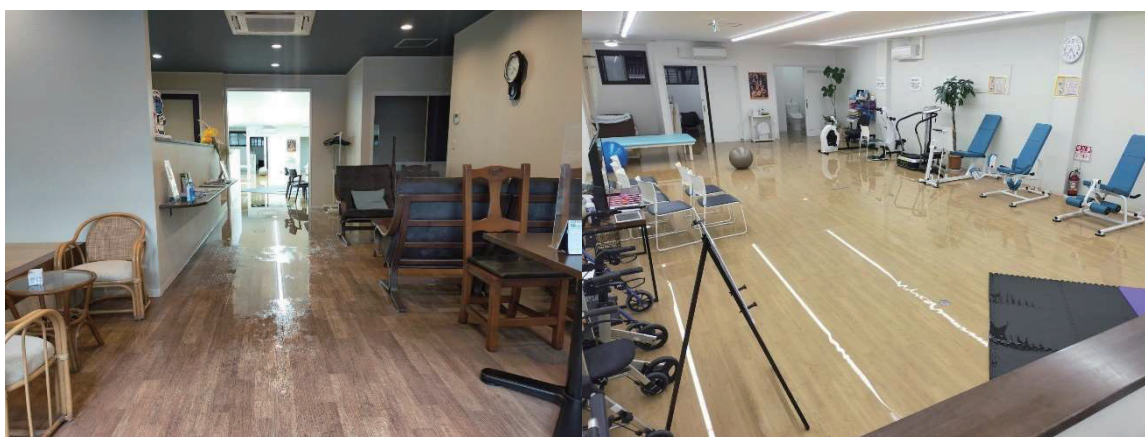
Recovery Gym クアオルト

代表 星野友昭

昨年の台風 15 号により、施設が一部冠水し、施設運営が難しい状況がありましたので、ご報告させていただきます。施設のある静岡市清水区では 9 月 23 日から続く大雨により、多くの道路やお店が冠水する被害が発生しました。当時、私は静岡市の葵区に住んでいるため、被害状況を確認するために 24 日(土)の 5 時頃に車で施設を訪れると施設内一面が 15 cm 程冠水しており、床に置いてあった物品が水で浮いている状況でした。幸い、水は泥水ではなく、雨水であったため、匂いや汚れはあまり感じませんでした。しかし、初めて見る光景に驚きながらもいくつか判断しなくてはいけない状況でした。①漏電している可能性があるため、電気の使用について、②本日の営業が難しいため、利用者、家族、担当の介護支援専門員への連絡、③職員への出勤に対する確認と安全確認、④水道の確認、⑤被害状況の確認が必要でした。分からない点は施設周辺の方に聞き、携帯でも調べながら対応しましたが、不安な状況であり、職員や家族、近所の方のご支援が非常にありがたく、精神的に助けて頂きました。

その後、24 日と 25 日の 2 日間の復旧活動により、26 日からは通常営業が可能な状態となりましたが、山間部の利用者は被害が大きく、断水の影響もあり、ご利用できない方もいるような状況でした。

今回の件から学んだ点としては、災害時のマニュアルの見直し、利用者や職員との連絡体制の確保などいろいろありますが、一番は近所の方との関りや職員、家族との関係性の構築かと思います。困った時に本当に助けてくれる方がどの程度いるのか、逆に自分が助けに行きあげられるのかが重要ではないかと考え、人との繋がりが希薄化される中、その重要性を再認識する貴重な機会となりました。



【写真 1】休憩室の様子

【写真 2】機能訓練室の様子

公益社団法人 静岡県理学療法士会 主催 予防局 メディカルサポート部 高校野球部門 令和5年度 ワークショップのご案内

日頃よりメディカルサポート部の活動にご協力頂きありがとうございます。高校野球部門では本年度も7月の選手権大会に向けてワークショップを企画しております。新規にスタッフ登録をされた方にも有意義な学びの場を提供できればと考えておりますのでどうぞご参加下さい。

<令和5年度ワークショップスケジュール>

第1回	日時：4月9日（日）10:00-11:30 内容：①新部門長よりこれからのメディカルサポートについて（小田心太朗先生 菊川市立総合病院） ②事例紹介（熱中症、緊急時の対応、頭部外傷） 開催方法・会場：WEB開催
第2回	日時：5月14日（日）10:00-13:00 内容：①緊急時の対応(90分) 講師：小田心太朗先生(菊川市立総合病院) ②熱中症への対応(90分) 講師：鈴木悠介先生(株式会社 H.Y.N.) 会場・開催方法：対面での中部地区を予定(決定次第メール案内します)
第3回	日時：6月11日（日）10:00-13:00 内容：①頭頸部の外傷への対応(90分) 講師：山崎一史先生(菊川市立総合病院) ②野球現場のテーピング(90分) 講師：小沢江平先生(浜松市リハビリテーション病院) 会場・開催方法：対面での中部地区を予定(決定次第メール案内します)

定員・参加費

定員：30名
 参加費：無料（どなたでもご参加頂けます）

申し込み

参加を希望の方は右 QR コードまたは下記 URL から
 Google フォームにてお申し込み下さい。

URL：<https://tinyurl.com/2mrknav>

※申し込みは各 WS 開催 1 週間前まで受け付けます。

※1 度の申し込みで複数の WS に申し込めます。

※開催日時や内容に関して、都合により変動する場合は順次案内を致します。

※事前学習動画は申し込みが確認でき次第メールにて送ります。



WS申し込み

<新規スタッフ募集に関して>

メディカルサポート部では新規スタッフを随時募集しております。活動は高校野球部門だけでなくサッカー部門、障がい者スポーツ部門など多岐にわたります。申込みは県士会 HP 会員ページより可能です。職場や経験年数に関係なく活動し様々な経験を積むことができます。

MS 部登録 URL：<https://tinyurl.com/2hpjofzo>



MS部登録

【お問い合わせ】 高校野球部門 小田 心太朗 medical-support@shizuoka-pt.com

「静岡県パラアスリート発掘競技体験プログラム」 活動報告

渥美 教介¹⁾²⁾・谷口 玲奈²⁾・大木 雅智²⁾・山下 浩史²⁾・小林 敦郎²⁾

¹⁾とりかい整形外科リウマチ科 ²⁾ 予防局メディカルサポート部

1. 大会概要

静岡県パラアスリート発掘競技体験プログラムが、2023年1月15日(日)にエコパアリーナで開催されました。本プログラムは障害者スポーツの普及、さらに障害者スポーツ人口の拡大を目的に約15の各種競技団体との相談会を含めた競技体験、全国各ブロックで開催される発掘事業「j-star プロジェクト」と同等の身体測定・基本スキル測定を静岡県版として行われました。障害者スポーツの裾野を広げるため様々な障害のある方に参加して頂き、当日は86名の方が参加され、選手として活躍されている方から、障害者スポーツを初めて行う方まで、10代～80代と幅広い年齢の方が参加されました。

2. 活動内容

県士会からは19名がサポートスタッフとして参加しました。当イベントでは測定器具の消毒や密を避ける等COVID-19の感染対策をしながら、参加者の測定(体重、握力、手長、上下肢長、肩関節柔軟性、長座体前屈、垂直跳び、立ち幅跳び、ボール投げ、20M走、3分間走)を実施しました。

3. 活動に参加した感想

今回、参加させて頂き、精神・発達障害を有する方でも能力を発揮できるスポーツ競技が多くあることを知りました。障害者と健常者の差は突出した個性の違いであり、障害の有無に関わらず、同じルールで行えるパラスポーツは、多く方の社会参加を促す機会になると感じました。このイベントは、多様な種目の体験や相談ができるため、今後も参加させて頂き、多くの方の夢を繋ぐきっかけづくりに貢献したいと思います。

放課後等デイサービス よつば・にこる 谷口玲奈

今回、形態測定と肩関節柔軟性の測定を担当させていただきました。様々な障害をもった方に利用いただき、日頃は気がつかない関節可動域制限による上肢長や肩関節柔軟性の左右差などを知っていただくことができました。また、「ケア方法を教えて欲しい」と声を掛けられることも多く、身体に興味を持っていただく機会になったと思います。今回のイベントを通して参加者が自身の身体特性を知ることで、今後の生活やパラスポーツ競技の実施に繋がると良いと思います。

浜松市リハビリテーション病院 大木雅智

4. 今後に向けて

コロナ禍でも徐々に現場でのサポート活動が再開されてきています。今後も今回のようなイベントに県士会として参加し、障害者スポーツの普及や競技選手の発掘に貢献していきたいと思います。



【測定風景(上)・参加スタッフ(下)】

[謝辞] この度、貴重な機会を与えてくださいました静岡県障害者スポーツ協会をはじめ、関係者の皆様に深謝いたします。

「静岡県ブレードランニングクリニック」活動報告

綾部 萌1) 大石 祐也2) 以西 昭海2) 赤岩 龍士2) 岩嵯 宣人2) 牧野 寛2)

1) えがわ医院 2) 予防局メディカルサポート部

1. 大会概要・活動内容

静岡県障害者スポーツ協会主催の「静岡県ブレードランニングクリニック」が令和5年1月21日に、このはなアリーナにて開催されました。県士会からは6名のスタッフが派遣され、パラアスリートの方々の大会運営や会場準備の補助や視覚障害のある方の誘導・声かけ、グループごとに担当のスタッフがつき、参加者の安全管理などサポート活動を行いました。障がいの有無関係なく182人が参加し、県内出身のパラアスリートやオリンピック出場経験を持つ選手が講師として、義足や走り方についての講義や実技、義足体験を行いました。

2. 活動に参加した感想

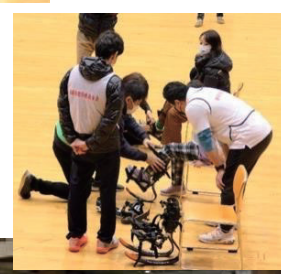
今回は健常者や肢体切断・知的障害等のある方が参加されていましたが、『走る』ことは障害の有無や年齢を問わず楽しめるものだと感じました。「障害があるから走れない」ではなく、障害があっても「走りたい、運動したい」という気持ちを支援していく場所や周囲のサポート環境があれば誰でも走ることができると知りました。しかし、現状ではまだまだ支援体制が整っていないことも知ったため、今後も障害を持つ多くの方々がスポーツに関わることができるようにサポートしていきたいと思いました。

(掛川北病院 大石祐也)

当イベントのコンセプトは『誰もが楽しく走る』ことでした。私たちはグループに分かれてサポート活動を行いました。個々の障害に合わせてトレーニングメニューを実施する難しさを感じました。しかし、講師のアスリートやコーチの親身な指導により、参加者が楽しみながらトレーニングをしている姿が印象的でした。走ることにより、競技力のみならず仲間とのコミュニケーションも高まり、その人の生活を豊かにすると思えました。これからも障害の有無に関わらず、スポーツの素晴らしさと楽しさを知ってもらえるようにメディカルサポート活動を行っていきます。

(小早川整形リウマチクリニック 以西昭海)

[謝 辞] この度、貴重な機会を与えてくださいました静岡障害者スポーツ協会をはじめ、関係者の皆様に深謝いたします。



「令和4年度サッカー部門研修会」

山下 浩史¹⁾²⁾・栗田 泰成²⁾・縄田 琴美²⁾・杉山 裕²⁾・寺田 隆二²⁾

¹⁾JA 静岡厚生連 遠州病院 ²⁾ 予防局メディカルサポート部

1. 研修会概要

2023年2月15日(水)、講師に静岡リウマチ整形外科リハビリ病院スポーツ整形外科医師の土井光人氏を招いて、「スポーツ現場で求められる理学療法士とは?～スポーツ整形外科医の視点から～」をテーマに、令和4年度サッカー部門研修会を開催しました。清水エスパルスのチームドクターも務めている土井先生より、サッカーに関する傷害特性について、実際の現場や臨床での様子を画像や動画、文献情報を交えてご講義いただきました。

2. 研修会参加者のアンケート結果より

本研修会は平日夜のWEB開催にも関わらず、102名(非会員7名)が参加されました。参加者によるアンケート結果(回答率93.1%、図1～3)より若手からベテランまで幅広い方、メディカルサポート活動経験の無い方にも関心を向けていただくことができました。また、参加者からは「医師の視点から実際の現場での話を聴けて良かった」、「スポーツ現場でのリスク管理の重要性を感じた」、「今後、メディカルサポートに参加したい」といった感想を多くいただきました。

【参加者アンケート結果】

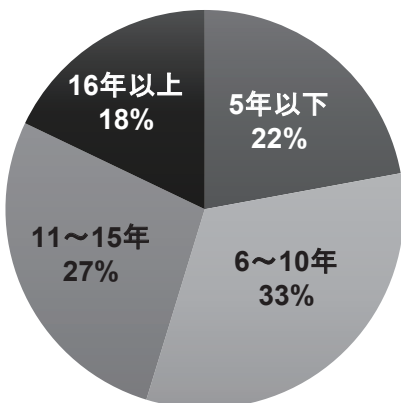


図1：臨床経験年数

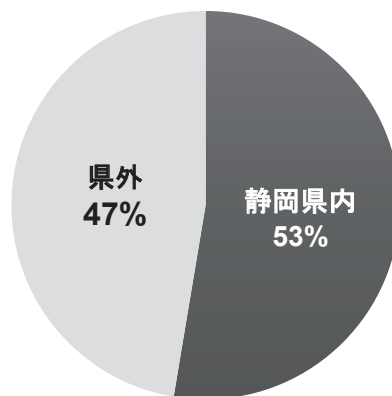


図2：所属施設

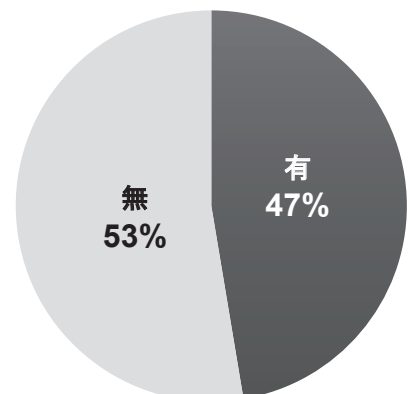


図3：メディカルサポート活動経験の有無

3. 今後に向けて

現在、コロナ禍でも多くの事業が再開されてきており、現場でのサポート活動は益々増えていくことが予測されます。今回、医師の視点からスポーツ現場で、我々理学療法士に何が求められるのか、様々な視点からご教示いただきました。スポーツ現場・医療現場での対応(受傷時の対応、手術後からスポーツ復帰までリハビリテーション)は多岐に渡るため、知識・技術を高めてサポート活動に還元できるよう、今後の研修会内容を検討していきたいと思えます。また、メディカルサポート部では、サッカー部門、高校野球部門、障害者スポーツ部門があり、様々な事業への協力を行っております。部門登録がまだの方は是非ご登録の上、多くの事業へご参加をお願いいたします。

【謝辞】

この度、貴重な機会を与えてくださいました土井光人先生(右写真:掲載承諾済)に深謝いたします。



予防局メディカルサポート部登録
・QRコード(右)
・URL: <https://cutt.ly/rIRp8in>



予防局メディカルサポート部 活動報告

「全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権」

山下 浩史¹⁾²⁾・秋山 大地²⁾・田淵 心²⁾・澤野 公一²⁾

¹⁾JA 静岡厚生連 遠州病院 ²⁾ 予防局メディカルサポート部

1. 大会概要

2023年2月18日(土)、19日(日)と藤枝総合運動場、藤枝市民グラウンドで第8回全国知的障害特別支援学校高等部サッカー選手権が開催されました。本大会は知的障害をもち特別支援学校高等部に通うサッカー少年・少女が日頃の練習の成果を試す最高峰の大会「もうひとつの高校選手権」であり、全国の地域予選を勝ち上がった12校が出場しました。

2. 活動内容

県土会からは2日間で延べ11名がサポートスタッフとして参加し、各会場で活動しました。事前に主催者側から参加選手の有する疾患やリスクについて情報を受け、各試合をグラウンドレベルで観察しながら負傷者への対応を行いました。

*2日間で計9件(創処置、ストレッチング、アイシング、テーピング等)

3. 活動に参加した感想

参加された選手は技術や体力レベルの高い選手が多く、試合内容は健常者のサッカー大会と大差を感じませんでした。しかし、事前にサポート経験のあるスタッフや主催者からの情報をもとに、試合中に起こりうるリスクを予測しつつ臨むことができました。実際に観察上よりも接触プレー時の反応が過剰な選手や負け試合後の気分の落ち込みが激しい選手等が散見されました。今大会を通して、試合中の1つ1つのプレーから起こりうる外傷をイメージすることや選手の精神面にも配慮して対応することが、傷害発生後の評価や対応に必要であると感じました。この経験を今後のサポート活動にも活かしていきたいと思います。



【試合風景(左側2枚)・参加スタッフ一部(右側)】

[謝辞] この度、貴重な機会を与えてくださいました静岡 FID サッカー連盟をはじめ、関係者の皆様に深謝いたします。

令和4年度 運動器系専門部会研修会 研修会Ⅲ 開催報告

大沼賢洋¹⁾、栗田泰成¹⁾、梅坂恭平¹⁾、杉山基一郎¹⁾、佐野正夫¹⁾

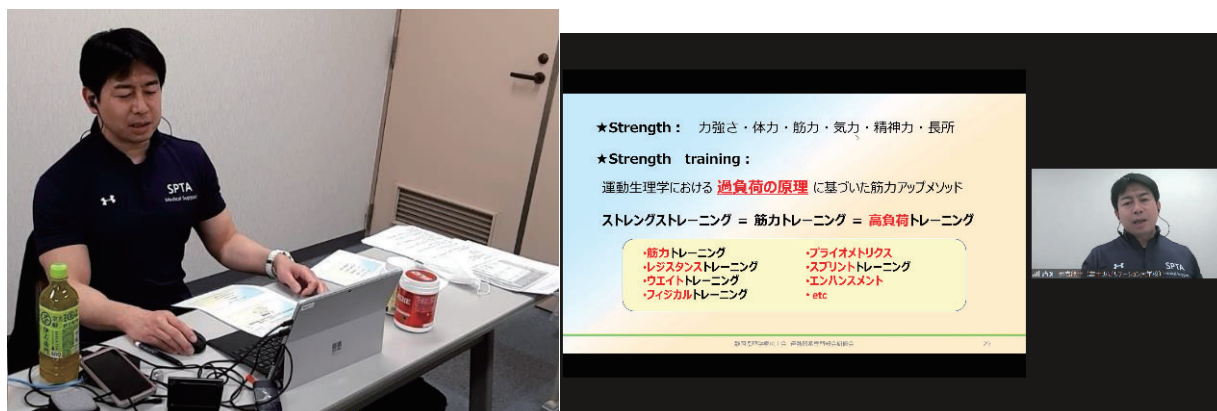
1) 静岡県理学療法士会 運動器系専門部会

運動器系専門部会では、2023年2月12日に「運動器疾患における血液データと栄養、効果的な筋力増強運動」についてWeb研修会を行いましたので、ご報告させていただきます。

参加者は県士会員37名、県外会員55名と県外会員の方も多くご参加くださいました。

本研修では、運動器疾患における血液検査、栄養学、効果的な筋力増強について、それぞれ関連性のある内容を富士リハビリテーション大学校の理学療法士の赤岩龍士先生にご講演いただきました。血液検査では、主に炎症について生理学、生化学的な解釈、検査上の数値の意味や捉え方を行い、細胞レベルから全身状態における影響について知見を深める内容でした。栄養学では、エネルギー代謝に始まり、ATPの合成にかかわる栄養素の関わりや、補酵素であるビタミンの作用・アミノ酸の身体への作用についてイラストなどを用い分かりやすく説明してくださいました。効果的な筋力増強においては、パラアスリートにおけるトレーニング方法をヒントとし、リハビリテーションでは筋収縮様式や筋収縮速度、神経筋の連動性の重要性と共に具体的な運動方法の紹介を実際の場面を想定して動画を用い、参加者に非常にわかりやすい内容で参加者からの反響も非常に高い様子が伺えました。また、セッションごとに、グーグルフォームを用いたアンケートを実施し、その結果を紹介しながら参加者の興味関心を高める工夫もあり、30件近い質問が寄せられ、参加者の関心が高かったことがうかがえた研修会となりました。

末筆ながら、運動器系専門部会研修会を実施するにあたり、ご講義をいただきました赤岩先生、ご協力いただいた関係者の皆様にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。



令和4年度 運動器系専門部会研修会 症例検討会 開催報告

大沼賢洋¹⁾、梅坂恭平¹⁾、影山哲也¹⁾、杉山基一郎¹⁾

1) 静岡県理学療法士会 運動器系専門部会

運動器系専門部会では、2023年2月16日に「症例検討会」のWeb研修会を行いましたので、ご報告させていただきます。

本研修会では、登録理学療法士を取得するための症例検討会を開催し、下記3名の方が発表を行い、20名が聴講としてご参加くださいました。

1. 人工股関節置換術後の殿筋群に着目し、歩容改善を認めた1症例

常葉大学リハビリテーション病院 金原稜先生

2. 前十字靭帯断裂を呈し術前に理学療法介入を行った1症例

片桐整形外科 佐野正夫先生

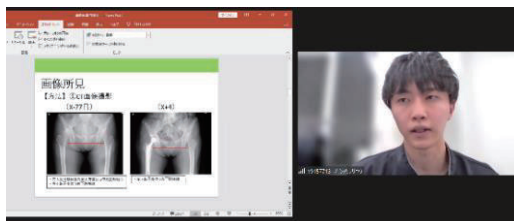
3. 人工骨頭置換術を施行後、自宅退院を目指し

リハビリ介入を行うも拒否が強く介入に難渋した1症例

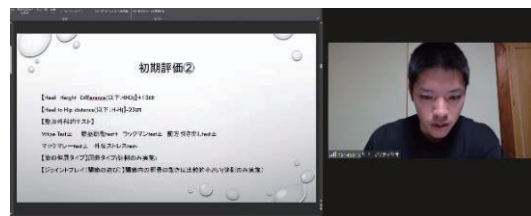
静岡徳洲会病院 岡村大樹先生

本研修会では、聴講の参加者から挙手で質疑応答を行い、どのセッションも時間いっぱいまで聴講の方から質問があり、活発な症例検討会となりました。日々、悩んでいることや評価・治療方法を参加者全員で共有することができ、有意義な症例検討会となりました。次年度も本部会として症例検討会を開催しますので、自身のスキル向上のため、症例発表をしていただけると幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

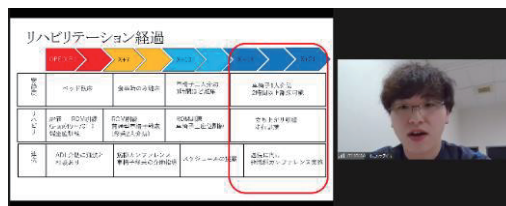
末筆ながら、運動器系専門部会研修会を実施するにあたり、症例発表していただきました金原先生、佐野先生、岡村先生、ご協力いただいた関係者の皆様にこの場をお借りして深く感謝申し上げます。



1. 金原稜先生



2. 佐野正夫先生



3. 岡村大樹先生

令和4年度 神経系理学療法専門部会研修会 成人研修会 I 開催報告

天野浩也¹⁾、田中幸平¹⁾

1) 静岡県理学療法士会 神経系理学療法専門部会

令和4年11月25日(金)に Web 上で「神経系理学療法専門部会研修会 成人研修会 I」を開催致しました。

今回の研修会では、**脊髄損傷症例に対するリハビリテーション、再生医療の研究結果、最新の知見等**を踏まえ、概説していただきました。症例提示も行い、実際の臨床の場面での疑問点や研究と臨床との関連性についても含めて、講義いただき参加者と意見交換を行いました。

参加者

所属地域：県内会員 22 名、県外会員 22 名、多職種 3 名 合計 47 名



実際に臨床と研究を両立されている中で、話の内容がわかりやすく、知識をアップデートできてとても良かったです。

研修会内容

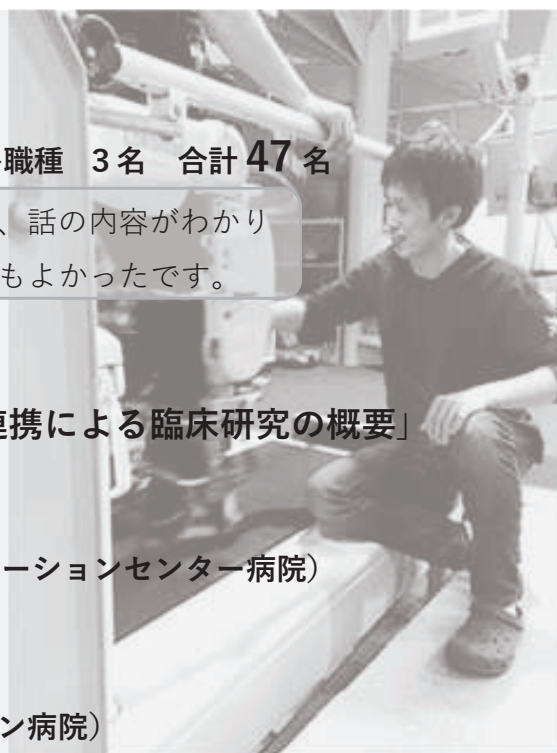
講義①「再生医療とリハビリテーションの連携による臨床研究の概要」

講義②「脊髄損傷症例に対する評価と治療」

講師：愛知 諒 先生（国立障害者リハビリテーションセンター病院）

症例提示

発表：橋本 昂己 先生（静岡リハビリテーション病院）



研修会の様子

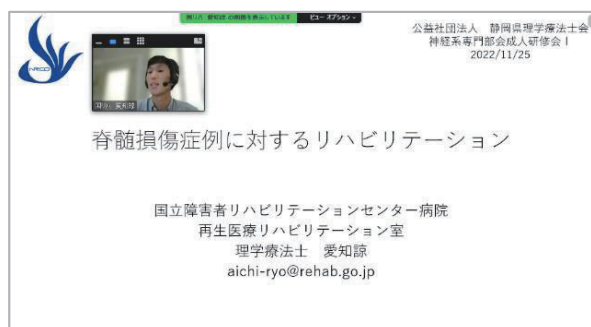


図 1：講義の様子

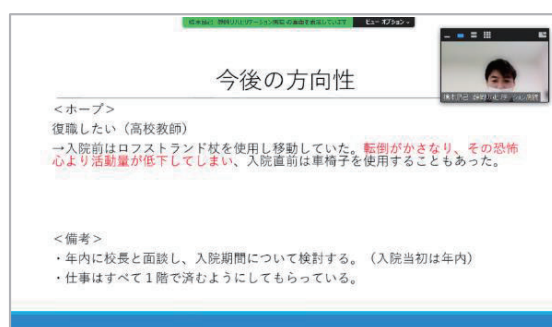


図 2：症例提示の様子

令和4年度 神経系理学療法専門部会研修会 成人研修会Ⅱ 開催報告

田中幸平¹⁾、天野浩也¹⁾、山内信吾¹⁾

1) 静岡県理学療法士会 神経系理学療法専門部会

令和5年1月18日(水)にオンライン研修会「神経系理学療法専門部会研修会 成人研修会Ⅱ」を開催致しました。

今回の研修会では、**神経難病症例に対するリハビリテーション**をテーマに神経難病のリハビリテーションの考え方、患者さんのQOL（生活の質）、セラピストが抱える葛藤などについて、講師の松下先生に講義をしていただきました。実際の事例を紹介され、グループトークを通じて参加者の皆さんがお互いを感じていることを共有し、意見交換することもできました。

参加者

所属地域：**県内会員 13名、県外会員 18名、一般 3名 合計 34名**



研修会へ参加して、新たな視点が得られ、考える幅も広げられてとても有意義でした。

研修会内容

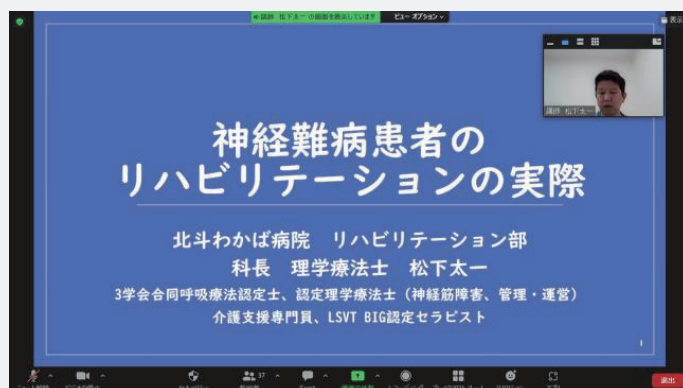
講義① 「**神経難病患者のリハビリテーションの実際**」

グループトーク 患者さんとの関わり、目標設定など

講義② 「**ロボットリハビリテーション、呼吸リハビリテーション**」

講師：**松下 太一** 先生（北斗わかば病院）

研修会の様子



2023年度「静岡県臨床実習指導者講習会」開催概要

2023年3月1日時点

1. 2023年度 静岡県「臨床実習指導者講習会」の開催主体

静岡県理学療法士会が「臨床実習指導者講習会」を取りまとめ、県内PT養成校6校7学科（全国リハビリテーション学校協会）と協力して臨床実習指導者講習会を運営

2. 2023年度 静岡県「臨床実習指導者講習会」開催方法について

※現時点で、開催方法は第15回はWEB方式、第16回・17回・18回は対面方式で実施予定となります。

講習会は、感染予防対策を十分に講じて開催致します。

1) 会場・日程・申込期間

定員は対面：100名/WEB：70名（※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更する可能性があります）

	会場/開催方法	日程	申込期間
第15回	静岡医療科学専門学校/WEB	2023年6月24.25日	2023年4月1日9時～4月28日17時
第16回	中央医療健康専門学校/対面	2023年7月29.30日	2023年4月15日9時～5月30日13時
第17回	富士リハビリテーション専門学校/対面	2023年11月11.12日	2023年8月1日9時～9月15日13時
第18回	聖隷クリストファー大学/対面	2024年2月3.4日	2023年11月1日9時～11月30日13時

1日目 9:00～19:10（講義・演習） 受付開始8:30

2日目 9:00～17:30（講義・演習） 受付開始8:30

※本講習会は16時間の時間が指定されているため、欠席・遅刻・早退の場合修了書の発行ができません。予めご了承ください。

2) 受講対象者：実務経験4年以上の理学療法士・作業療法士

（実際の臨床実習指導は実務経験5年以上から可能）

3) 受講費：①PT協会員：無料 ②PT協会員外：1,000円（作業療法士も含む）

4) 受講者の選定方法

申込多数の場合、次の①～③の有資格者を優先して、受講者を決定いたします。

①理学療法士

②静岡県内の理学療法士養成校実習施設（県外施設を含む）

③静岡県理学療法士会会員

同一施設から複数名の申込も可能ですが、全体申込数により受講人数を制限させていただきます。予めご了承ください。

5) 受講決定

申込締切後、1ヶ月～1ヶ月半後にメールにて連絡いたします。

先着順ではございません。申込み期間内にお間違いの無いようにお申し込みください。

原則的にキャンセルはできませんので、ご注意ください。

6) 申込方法・期間

申込期間中に、以下の①・②の両方を済ませた方のみ、申込を受付させていただきます。

① 実務経験申告書の作成・提出

静岡県理学療法士会ホームページから、「**実務経験申告書 (Excel)**」をダウンロードしてください。
 実務経験申告書の注意事項を必ずご一読いただいた上で、Excel 上で必要事項をご入力いただき作成ください。入力していただくと、32行目の「**実勤務期間合計**」が算出されます。その年数は②の登録時に使用致します。また、作成後は印刷いただき、ご本人のご捺印と、施設代表者等のサイン・ご捺印をした物をPDF データにしていただき、下記の申込先へメールでご提出ください。

※メール件名に、「**第〇回講習会実務経験申告書**」と必ず明記してください。

※〇に申込みされる回をご記載ください

※メール本文に、**所属と氏名**を必ず明記してください。

＜実務経験申告書ダウンロード＞

県士会 HP > ホーム > 一般の方へ > 各種申請書ダウンロード

URL : <https://shizuoka-pt.com/generalpublic/downloads/>



②URL または QR コードより申込者情報をご登録ください。

※①提出先、②URL・QR コードは下記の表をご確認ください。

	①提出先 Mail アドレス	②URL	② QR コード
第 15 回	m.nagase.shiz@gmail.com	https://forms.gle/fNRBRtAqE6oF72cp9	
第 16 回	pt@suzuki.ac.jp	https://forms.gle/vppBT4rEctwDND8T7	
第 17 回	fujirehapt@gmail.com	https://docs.google.com/forms/d/10CG6oMucoJ154aqPS2EdL9fbOat4sqR80GYo7EeAQJg/edit	
第 18 回	hiroki-y@seirei.ac.jp	https://forms.gle/emudTjQZYWKCVCVYnB9	

＜申込内容＞

会員番号（作業療法士または非会員は会員外）、氏名（フリガナ）、所属、
 メールアドレス（職場や携帯アドレス不可）、専任教員・教員以外、長期講習会受講の有無、
 生年月日（西暦表示）、実勤務期間合計

7) 問い合わせ先（※問い合わせは e-mail でお願いします）

静岡県理学療法士会 臨床実習指導者講習会委員会

Mail: rinsyo-jissyu@shizuoka-pt.com

以上

【会員マイページ専用アプリの開始について】



2022年度より会員専用マイページアプリがリリースされました！

会員専用アプリは、以下のことが可能になります。

- マイページへのオートログイン
- QRコード読み取り機能による研修会参加受付
- 協会・士会からのお知らせをプッシュで通知



[ダウンロードなどの詳細はこちら](#)

<学術大会や研修会, 症例検討会などの参加受付が QRコードで行われる場合の注意事項について>

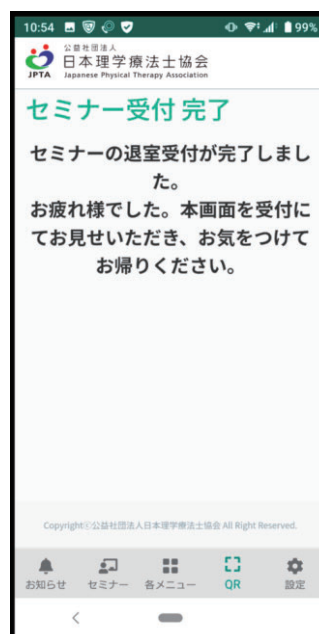
- ・研修会当日までに JPTA アプリのインストールをお願いいたします。
- ・会員専用アプリインストール済みの端末(スマホ等)で視聴される場合、QRコードの読み取りができません。PC やタブレットなど別の端末での受講をお願いいたします。
- ・入退室管理が、研修会開始時と終了時、2 回の QR コード読み取りで行われる場合、開始時と終了時の 2 回 QR コードを読み取らないと、ポイント付与は認められませんので、ご注意ください。
- ・その際、入室時に QR コードを 2 回読み取ると、退室時刻も記録されます。入室時の読み取りで 2 回以上読み取ることがないように注意してください。
- ・一度 QR コードを読み取り、読み取った画面のまま一定時間 (120 分以上) 放置すると、強制的にログアウトになりますので、ご注意ください。ログアウトとなった場合は、アプリを再起動させる、もしくは、アプリの【設定】メニューから一度ログアウト後に再度ログインをお願いいたします。

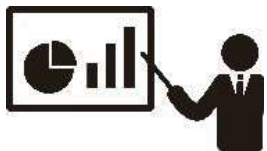
※入退室管理が、研修会開始時と終了時、2 回の QR コード読み取りで行われる場合

<入室時の読み取り表示>



<退室時の読み取り表示>





行事・研修案内



ACP・意思決定支援セミナー オンデマンド限定配信のご案内

【日 時】令和5年4月1日（土）～ 4月21日（土）

【会 場】オンデマンド配信（静岡県理学療法士会 YouTube）

【内 容】「ACP・意思決定支援とは何か？」「ACPにおけるリハビリ専門職としての役割」

※令和5年2月6日に実施したACP・意思決定支援セミナーの録画動画

【対 象】静岡県理学療法士会 全会員

【申込期間】令和5年4月21日



※詳細は右記 QR コード・静岡県理学療法士会 HP ご参照ください。申込は Google フォームとなります。申し込み後、YouTube の URL が配信されます。

『静岡県理学療法士会 Youtube チャンネル』の登録はこちらからお願い致します。

URL : <https://www.youtube.com/channel/UC-ilKIHY6M7Hrmm5hTN5WdQ>

QRコード :



『静岡県理学療法士会 LINE 公式アカウント』の友だち追加はこちらからお願い致します。

URL : <https://lin.ee/2LkG23cbP>

QRコード :



編集後記

早いもので気が付けば3月となりました。年度末を迎え皆様はいかがお過ごしでしょうか？これから新天地で活躍される方や新たに後輩ができる方、継続して自己研鑽を積む方など次年度へ向けての準備、環境の整理で忙しく過ごされている方も多いと思います。私も来年度に向けて今までの自分を振り返り、気を引き締めて過ごしていきたいと思います（田島亜侑美）

理学療法士・作業療法士募集

学校法人国際医療福祉大学

国際医療福祉大学熱海病院

経験者の方歓迎いたします！資格取得や技術向上のためのキャリア支援制度も充実！急性期から回復期・在宅に至るまで様々な形態のリハビリテーションを提供している地域の基幹病院です。大学病院のため、大学教員の臨床や研究のサポートも受けられ、実習生を教育する等、様々な視点から、経験やスキルを磨くことができます。

- 【募集人員】 常勤 2 名
【施設概要】 269 床 一般病棟 238 床
回復期リハ病棟 31 床
【待遇】 基本給 222,320 円～（経験により優遇いたします）賞与：年 2 回、昇給：年 1 回
各種手当・退職金制度あり
【休日】 4 週 8 休制 年間休日 112 日
【勤務時間】 8:30～17:30
【交通】 JR 東海道線「熱海駅」より徒歩 8 分
【応募方法】 お電話又は履歴書をご郵送下さい。
【連絡先】 〒413-0012 熱海市東海岸町 13-1
国際医療福祉大学熱海病院
Tel 0557-81-7591 Fax 0557-83-6632
担当 人事課：野中
E-mail atami-jinji@iuhw.ac.jp

理学療法士募集

医療法人財団百葉の会 湖山リハビリテーション病院

「自らが受けたいと思う医療と福祉の創造」を理念に静岡市、富士市、富士宮市を中心に医療・介護サービスを提供しています。地域を支える療法士として、共に成長できる仲間を募集いたします。
リハビリ職員数：PT57 名、OT37 名、ST9 名

- 【募集人員】 若干名
【施設概要】 湖山リハビリテーション病院
住所：静岡県富士市大淵 405-25
回復期リハ病棟 96 床・療養病棟 112 床
【待遇】 月給 223,750 円～
※給与は経験・スキルなどを考慮いたします
※前職給与などご相談ください
各種保険完備、通勤手当、子育て手当
賞与年 2 回、決算賞与、
車通勤可（無料●完備）
昇給年 1 回、リゾートホテル会員権
有給・リフレッシュ・誕生日休暇、院内保育室
【休日】 シフト制／月 9～10 日休み（年間休日 110 日）
有給休暇初年度 12 日付与
【勤務時間】 日勤 8:15～17:15、早番 6:30～15:30
【応募方法】 電話またはメールにてご連絡ください。
ウェブでの施設見学も実施中◎
【連絡先】 医療法人財団百葉の会 採用担当
TEL:0120-278-228
Mail:saiyou_mid@momoha.or.jp



理学療法士募集

医療法人財団百葉の会 ①介護老人保健施設 ききょうの郷
②介護老人保健施設 鶴舞乃城

29 の高齢者施設や療養病床を展開。医療と福祉を連携しながら様々なサービスを展開している、静岡県下最大規模の法人です。生活リハビリや在宅支援、介護施設だからこそできる看取りケアなど、幅広い分野に興味のある方は是非ご応募ください。
老健リハビリ職員数：PT27 名、OT28 名、ST2 名

- 【募集人員】 若干名
【勤務地】 ①静岡県富士市五貫島 175
②静岡県静岡市清水区庵原町 3158
【待遇】 月給 248,750 円～
※給与は経験・スキルなどを考慮いたします
※前職給与などご相談ください
各種保険完備、通勤手当、子育て手当
賞与年 2 回、決算賞与、
車通勤可（無料●完備）
昇給年 1 回、リゾートホテル会員権
有給・リフレッシュ・誕生日休暇
【休日】 シフト制／月 9～10 日休み（年間休日 110 日）
有給休暇初年度 12 日付与
【勤務時間】 日勤 8:30～17:30
【応募方法】 電話またはメールにてご連絡ください
ウェブでの施設見学も実施中◎
【連絡先】 医療法人財団百葉の会 採用担当
TEL:0120-278-228
Mail:saiyou_mid@momoha.or.jp



リハビリスタッフ理学療法士募集 株式会社 アブレイズ

静岡市・富士市を中心として『『できる』が増える』を理念に、理学療法士が活躍しています。リハビリデイサービスや訪問リハビリでの機能訓練が主なお仕事です。見学だけでも OK！

- 【募集人員】 常勤 3 名
【施設概要】 リハビリデイサービス（5 事業所）
訪問看護（1 拠点）
【待遇】 基本給 24 万円～、通勤手当、調整手当、技術手当、送迎手当、特定処遇手当あり、賞与年 2 回、昇給年 1 回、各種保険完備、退職金制度あり、制服貸与
【休日】 週休 2 日制、年次有給、夏季休暇
【勤務時間】 8:00～17:00・8:30～17:30
【交通】 ※事業所により異なります。
詳しくは HP をご覧ください！
【応募方法】 お気軽にお電話ください！
【連絡先】 静岡県静岡市清水区蒲原 4 丁目
6-10 株式会社 アブレイズ（本社）
Tel 054-385-0201
採用担当：守屋 恵
HP：<http://ablaze-reha.com/>
※詳しくは HP の求人をご覧ください。

理学療法士募集

医療法人石華会 司馬整形外科

整形外科疾患に対して幅広くリハビリを行っているクリニックです。PTとしてやりたい事・勉強したい事がある方を応援します。短時間正社員も可能ですので子育て中の方なども相談によって柔軟な働き方が可能です。交通手段も良好の立地です。

【募集人員】 常勤1名

【施設概要】 無床

【待遇】 基本給19.8万円～、これに加えて通勤手当、資格手当、家族手当、精皆勤手当、など賞与年2回、昇給年1回、各種保険完備、退職金制度あり

【休日】 日祝、水&土午後、年次有給、夏季休暇

【勤務時間】 8:30～18:45(月・火・木・金)

8:30～12:30(水) 8:30～13:00(土)

【交通】 JR 東海道線静岡駅より徒歩6分

【応募方法】 電話又は履歴書を郵送して下さい。

【連絡先】 〒420-0859 静岡市葵区栄町2-7

医療法人石華会 司馬整形外科

Tel 054-254-1576 Fax 054-254-2939

担当 事務: 司馬

E-mail 48shibaclinic@gmail.com

HP <https://shiba-ortho.com>

PT・OT・ST 募集

ハートピアの森 リハビリ訪問看護ステーション リハビリセンター

PT・OT・ST が中心に運営する施設です。
地域での取り組みや自身の可能性を見出したい方は、是非一緒に働きませんか！

【子育て中の方も多数活躍中】

【アットホームな社風です】

【募集人員】 ①常勤1名、②パート2名(1500円～)

【施設概要】 訪問看護ステーション(駿河区手越又は葵区瀬名)
通所介護(駿河区手越又は駿河区東新田)

【待遇】 月収23万円～+各種手当
通勤、住宅、扶養手当、退職金制度、賞与年2回、昇級あり(実績・能力に依ずる)
各種保険完備

【休日】 土日祝日休み、年次有給、夏季休暇

【勤務時間】 ①8:15～17:15

②週1回から、短時間からでも可能

【応募方法】 電話、メール又は履歴書を郵送 見学随時歓迎

【連絡先】 〒421-0102 静岡市駿河区手越 420-3

Tel 054-257-6933

人事担当 近藤

E-mail rehacares2014@gmail.com

HP <https://heart-pia.co.jp/>

理学療法士募集

株式会社品川屋 ペリデグループ

静岡市内で介護福祉サービスを展開しているペリデグループです。ショートステイやデイサービスのお客様へのリハビリが主なお仕事です。高齢者施設がはじめての方、ぜひ一度見学にいらしてください！職場体験もできます！

【募集人員】 常勤1名

【施設概要】 ショートステイ20床

有料老人ホーム29床の複合型施設

【待遇】 月給205,500円～254,500円
他手当: 皆勤手当、通勤手当
賞与年2回、昇給年1回、各種保険完備、退職金制度あり、制服貸与、無料駐車場完備、食事補助あり

【休日】 週休2日制、夏期・冬期休暇各3日間

【勤務時間】 8:30～17:30

【交通】 JR 安倍川駅より徒歩15分

【応募方法】 電話・メールまたは、履歴書送付

【連絡先】 〒421-0137 静岡市駿河区寺田 206-1

株式会社品川屋 担当: 澤野

TEL: 090-6386-7521、054-201-1165

MAIL: soins@pelide.jp

HP: <http://www.pelide.jp/>

理学療法士・作業療法士募集

社会福祉法人まごころ まごころタウン*でい*草薨

「ひとりひとりの豊かな人間観の実現」を基本理念にご利用者様・ご家族様の想いに寄り添ったサービスの提供を目指しています。デイサービスの他、特別養護老人ホーム・短期入所生活介護を併設しており、他事業所・多職種との連携にも力を入れています。セラピストの知識や技術経験を活かして、ご利用者様の生活に寄り添えるケアを一緒に目指しましょう。

【募集人員】 常勤1名、パート(時給1,500～2,000円)

【業務内容】 ①総合職: 介護総合事業 ※選択可
②デイサービス

【待遇】 月給26～35万円(経験考慮)
賞与年2回・昇給年1回: 会社の業績による、各種保険完備

【休日】 月9日間

【勤務時間】 ①8:30～17:30

②パート 9:30～16:30(応相談)

【応募方法】 施設見学随時可能

電話・メールまたは履歴書を郵送して下さい。

【連絡先】 〒422-8009

静岡市駿河区弥生町 4-26

担当: 野村 054-267-3131

E-mail: y-nomura@magokoro-w.com

理学療法士募集

財団法人 福祉医療推進事業団 あかりクリニック

掛川市上西郷にある整形外科クリニック。運動療法・徒手療法・足底板療法を主体としたリハビリを行います。対象は術後や高齢者から学生スポーツ障害まで多岐に渡ります。医師がリハビリに対する理解が深く、各々が掲げる医療を実践する場として、院外活動・副業も可能。

【募集人員】 常勤2名

【待遇】 基本給 21万9千円～
賞与2回(3.5ヶ月分)、昇給年1回
各種保険完備、退職金制度あり、
通勤手当あり、住宅手当あり、
学会・講習会費用支給あり

【休日】 週休二日(木・日)
祝日、お盆、年末年始休暇あり、

【勤務時間】 午前8時15分～12時15分、
午後15時～19時

【交通】 自動車通勤可

【応募方法】 電話またはメールにてご連絡ください
随時見学可

【連絡先】 静岡県掛川市上西郷528-1
施設概要はHPをご覧ください。
電話: 0537-23-0277
Email: imazeki.akari@gmail.com
担当: 今関(いませき)

理学療法士募集

医療法人社団新緑会 やまだ整形外科

平成18年に開業の浜松市南区にある整形外科になります。リハビリ室には現在常勤・非常勤含めPT2名・OT2名が在籍しています。運動器リハビリを中心とし、介護領域では昼休憩を利用した訪問リハも実施しています。整形外科領域が未経験の方も歓迎します。

【募集人員】 常勤1名程度 パート2名 週1日～

【施設概要】 整形外科クリニック リハビリテーション科
【待遇】 基本給 20.5万円～、職務手当 3.5万
通勤手当、賞与年2回(前年度4.0ヵ月)、
昇給年1回(前年度5000円) 別途訪問
リハ一件につきインセンティブ有、
各種保険完備、パート時給 1500円～

【休日】 木曜・土曜午後・日曜日・祝日、
年次有給、夏季休暇、年末年始

【勤務時間】 8:45～12:35、14:45～18:45(月・火・水・金)
8:45～13:45(土曜) 8:45～12:45(木曜)

【交通】 遠鉄バス下江町より徒歩5分
自動車通勤可

【応募方法】 電話又は履歴書を郵送して下さい。

【連絡先】 〒430-0825 浜松市南区下江町457
医療法人社団新緑会 やまだ整形外科
Tel 053-427-0500 Fax 053-427-0505
担当 竹内・山田
E-mail sinryokukai@outlook.jp

理学療法士募集

株式会社アクタガワ

通所介護等の機能訓練や管理業務を行っていただきます。働きやすさにも自信あり！在籍スタッフから「シフトを自分で組めて働きやすい」と好評です。藤枝・静岡・富士市周辺にお住まいの方、大歓迎です！

【募集人員】 正社員1名・パート1名

【施設概要】 通所介護、有料老人ホーム、
小規模多機能型居宅介護 等

【待遇】 正社員 月給 268,800円～330,000円
※諸手当込み
パート 時給 1,500円～1,570円

【休日】 年間休日 107日(月9日)

【勤務時間】 8:30～17:00(パートは応相談)

【応募方法】 下記フリーダイヤルまでご連絡ください

【連絡先】 株式会社アクタガワ 採用担当宛
TEL: 0120-767-388
HP <https://akutagawa-recruit.jp/>

求人広告に関するお問い合わせ

EメールまたはFAXにて
お問い合わせください

静岡県理学療法士会広報局
渡邊勉(わたなべ つとむ)

FAX 0544-26-0937

E-mail tsutomu@shizuoka-pt.com

一般財団法人富士脳障害研究所附属病院

※ゆまにて198号の掲載原稿の締め切りは

2023年4月28日です。